

はじめに

皆さんは「決算書」を使いこなせていますか？

決算書は会社の健康診断のようなもので、「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュ・フロー計算書」という書類があることや、それぞれの役割を理解している方も多いでしょう。しかし、実際にどう活用すればよいかわからないという声もよく聞きます。

決算書は、単なる税務申告や銀行への提出用の書類ではありません。会社の儲けや資金の流れ、財務の安全性が示されており、さらに成長のヒントが詰まっています。これら3つの書類のつながりや見方を理解すれば、会社の現状をより正確に把握でき、未来の戦略にも役立てられます。

本冊子では、決算書を使いこなすために、Step1～2では基本的な知識をおさらいし、Step3では実践的な活用方法を解説しています。特にStep3の各項目では、自社の過去3期分の決算書と電卓を横に置きながら読み進めていただくと、自社の決算書の理解も深まるでしょう。

毎年作成している「決算書」を有効活用し、会社経営の強い味方になっていただく一助となれば幸いです。

目次

Step1 決算書のきほん

- ① 決算書ってなに？ ————— 2
- ② 決算書はどうやって作るの？ ————— 4

Step2 3つの決算書を知ろう！

- ③ 損益計算書ってなに？～5つの利益～ — 6
- ④ 貸借対照表ってなに？～3つの要素～ — 8
- ⑤ キャッシュ・フロー計算書ってなに？
～3つの区分～ ————— 10
- ⑥ 3つの決算書のつながり ————— 12

Step3 決算書を使って会社を見てみよう！

- ⑦ 重要な数字に着目して、図にしてみよう — 14
- ⑧ 今までの資金繰りの状況を確認しよう — 16
- ⑨ 会社の収益性（儲ける力）を確認しよう — 18
- ⑩ 会社の安全性（続ける力）を確認しよう — 20
- ⑪ 会社の成長性（伸びる力）を確認しよう — 23
- ⑫ 今までの業績から
会社の現在地を確認しよう ————— 26
- ⑬ 計画通りに業績を
上げられているか確認しよう ————— 28
- ⑭ 業界での会社の立ち位置を確認しよう — 30

(※) 本冊子は、計算結果の小数点第2位を四捨五入しています。